

# 上沢薬師堂の石造物

所在地： 埼玉県富士見市上沢 2 丁目 - 4



参道から↑

上沢の薬師堂の境内に「上沢の百観音」ともいわれる百体の観音像が並んでいます。

鶴馬村上沢の組頭（くみがしら）であった大曾根家の祖先が、寛政10年（1798）頃から文久2年（1862）の63年にかけて、親・子・孫の三代にわたり、「西国33か所」、「坂東33か所」、「秩父34か所」の百か所の札所（霊場）を巡礼し、三代目で全てを参拝しました。

農閑期を利用して長い年月をかけて巡礼し、その徳を多くの人々に分けるために

大曾根氏の子孫が観音石仏の建立を計画し、建設資金は近隣の村人などの寄進によって行い、明治2年（1869）に建立し終わったと石碑に記されています。

## 上沢の百観音



奉納 百番供養塔  
明治2年2月

（上段） 西国33ヶ所  
三十三番・・・・・・・・・・一番

（中段） 秩父34ヶ所  
三十四番・・・・・・・・・・一番

（下段） 坂東33ヶ所  
三十三番・・・・・・・・・・一番



薬師堂改築  
百観音移設  
昭和54年8月

※ウィキペディアによると

『日本百観音（にほんひゃくかんのん）とは、西国三十三所・坂東三十三箇所・秩父三十四箇所を総合した日本を代表する100の観音巡礼である。その結願寺は秩父三十四箇所の三十四番水潜寺となる。長野県佐久市鳴滝の岩尾城跡にある大永五年（1525年）銘の石碑に、「秩父三十四番 西国三十三番 坂東三十三番」と彫られており、これ以前に日本百観音巡礼が考案されていたことが判明している。』という。

【右前方より、上沢の百観音の全景 ↓ 】



※残念ながら、一部倒壊、一部損傷している観音菩薩もある。

【上沢の百観音の本尊を数えると・・・】

観音の普門示現（ふもんじげん）・・・観音が世を救済するに、広く衆生の機根（性格や仏の教えを聞ける器）に応じて、種々の形体を現ずる・・・の考え方から、六観音、七観音、十五尊観音、三十三観音など多種多様な別身を派生するに至ったという。

このため、観音像には基本となる聖観音（しょうかんのん）のほか、変化（へんげ）観音と呼ばれる様々な形の像がある。

※真言系では聖観音、十一面観音、千手観音、馬頭観音、如意輪観音、准胝観音を六観音と称し、

天台系では准胝観音の代わりに不空羂索観音を加えて六観音とする。

真言系の六観音に天台系の不空羂索観音を加えたものが七観音。

	坂東三十三箇所	西国三十三箇所	秩父三十四箇所
聖観世音菩薩	6	3	2 1
十一面観世音菩薩	1 4	6	6
千手観世音菩薩	1 0	1 4	3
如意輪観世音菩薩		6	2
馬頭観世音菩薩		1	1
准胝観世音菩薩		1	1
不空羂索観世音菩薩		1	
十一面千手観世音菩薩	1	1	
十一面千手千眼観世音菩薩	1		
延命観世音菩薩	1		

\*西国31番長命寺は、千手観音・十一面観音・聖観音の3体を本尊にしているが、この石仏は所在不明のため、札所から受けている札から十一面千手観世音菩薩としてカウント。

\*坂東24番樂法寺の延命観世音菩薩は六観音・七観音ではなく三十三観音

### 【上沢の百観音の菩薩像は・・・】

ある程度の定形化された菩薩像で、台座に寺号が彫られている。その代表的な像例です。馬頭観世音菩薩については、別項目で掲載しています。



聖観世音菩薩  
(坂東26番清瀧寺)



十一面観世音菩薩  
(坂東28番龍正院)



千手観世音菩薩  
(坂東33番那古寺)





如意輪觀世音菩薩  
(西国 2 7 番圓教寺)



准胝觀世音菩薩  
(西国 1 1 番上醍醐寺)



不空羂索觀世音菩薩  
(西国 9 番興福寺)

馬頭觀音

<百觀音の右側に馬頭觀音>



■富士見市の馬頭觀音 (リスト 1 6)  
造立年月日 : 享和 3 年 (1803)

<百観音のなかに、馬頭観音が2基ある>

■富士見市の馬頭観音(リスト76)

紀年銘なし

百観音 西国29番(松尾寺)



■富士見市の馬頭観音(リスト77)

紀年銘なし

百観音 秩父28番(橋立寺)



### 石地藏

■富士見市の石地藏(リスト19)

造立年月日:正徳2年(1712)

(リスト36)

造立年月日:延享4年(1747)

(リスト76)

紀年銘無し





## その他

- 境内の南よりに  
明治3年（1870）銘  
大日如来の石仏



- 安永9年（1780）建立の巡礼供養塔  
願主は地元の大曾根勘左右エ門



- 御手水鉢と力石



・元文5年(1740)と明治2年2月吉日(1869)の御手水鉢がある。写真は元文5年のもの。

・力石も御手水鉢の横に2ヶある。

記載日：2014/6/1

この内容は、「郷土富士見検定問題集」、「富士見石造文化財目録（四）H13.3.31」、「富士見市HPの馬頭観音」、「富士見市HPの石地蔵」等から、記載しています。